



®環境省

エコアクション21

認証番号0009770

環境経営レポート

2023年度
(2023年2月1日～2024年1月31日)

株式会社 利晃製作所
2024年4月発行

1. 環境活動等の紹介①

○電気自動車・電気自動車充電設備の導入



○太陽光発電の自家消費



○コージェネレーション設備(ガス発電機)の排熱を利用した給湯



○全灯LEDライトの採用



1. 環境活動等の紹介②

○工場内エリア別温湿度管理

項目名称	日付	温度/湿度	湿度/温度	警報	対応	温度	湿度
①切斷	02/25 18:10	20.8℃	25RH%	REC	Tail		
②押出	02/25 18:10	20.7℃	11RH%	機動	Tail		
③洗淨	02/25 18:10	20.7℃	25RH%	測定	Tail		
④大径	02/25 18:10	20.1℃	27RH%	REC	Tail		
⑤品庫	02/25 18:00	20.7℃	24RH%	REC	Tail		
⑥中径	02/25 18:10	20.7℃	24RH%	測定	Tail		
⑦大径	02/25 18:10	20.7℃	22RH%	測定	Tail		
⑧品庫	02/25 18:10	20.7℃	25RH%	REC	Tail		
⑨品庫	02/25 18:10	20.7℃	27RH%	REC	Tail		
⑩品庫	02/25 18:10	20.2℃	25RH%	REC	Tail		

工場エリア別 温湿度管理

一定温度(27℃)を超えると、温度が赤くマークされます

環境温度を27℃に保てるよう、随時確認し、空調管理を行いましょ

○最新の省エネ設備への更新



○室外機へ冷房時の遮光ネット取り付け



○洗浄機からの放熱を緩和させるための断熱材貼り付け



○保温性を高めた乾燥炉の新規作製



○湯洗機の新規作製(以前はガスを使用)



2. 認証・登録範囲及び会社概要

1) 組織の概要

①事業所名

株式会社 利晃製作所
代表取締役 林 栄明

②所在地

本社 岸和田工場
大阪府岸和田市岸の丘町2丁目5-10
延べ床面積：4,478.3m²

③エコアクション21 管理責任者及び担当者

責任者：部 長 藤本 安宏
担当者：次 長 辻 光樹
TEL：072-489-3636 FAX：072-489-3737

④事業内容

空調冷熱機器用配管加工

⑤事業規模

資本金：10,000,000円
売上高：2,460,000,000円
従業員数：108名

⑥事業年度

2月1日～翌年1月末

2) 認証登録の対象事業所の範囲・活動

登録組織名：株式会社 利晃製作所
活動：空調冷熱機器用配管加工

3. 環境経営方針

環境経営方針

＜基本理念＞

当社は、『人の暮らしと自然との共生』地域社会と地球の環境保全のために、積極的に取り組むことが最重要課題であると認識し、環境マネジメントシステムの構築と継続的改善を全従業員一丸となり自主的積極的に行います。

＜環境方針＞

1) 当社は、次の環境課題に取り組めます。

- ①電力消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- ②燃料消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- ③産廃物排出量の削減
- ④水資源の節減
- ⑤環境に配慮した生産活動
- ⑥化学物質の管理

これらについて経営における課題とチャンスをつまみ、環境経営目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

2) 環境関連法規制や、環境への取り決め事項を遵守します。

3) この環境経営方針を全従業員へ周知し、全員参加で活動を進めます。

制定日：平成23年10月1日

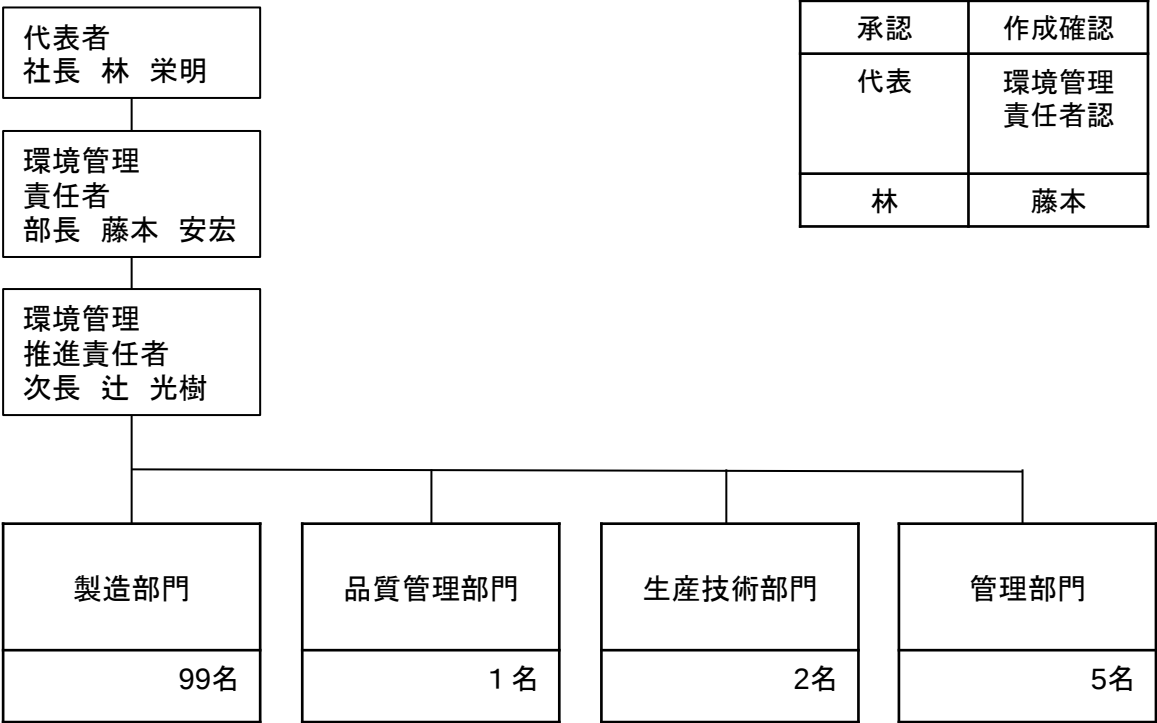
改訂日：令和4年2月16日

株式会社 利晃製作所
代表取締役 林 栄明

4. 実施体制

2024/4/01 改定

株式会社利晃製作所 実施体制図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任
	・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備
	・環境管理責任者を任命
	・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知
	・環境経営目標・環境経営計画書を承認
	・代表者による全体の評価と見直しを実施
	・環境経営レポートの承認
環境管理 責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理、
	・環境関連法規等の取りまとめ表を作成・確認、遵守状況評価
	・環境目標・環境活動計画書の作成・確認
	・環境経営レポートの作成・確認、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
	・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施
	・環境経営の実績集計
	・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
環境管理 推進責任者	・自工場における環境経営システムの実施
	・自工場における環境方針の周知
	・自工場の従業員に対する教育訓練の実施
	・自工場に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告
	・特定された項目の手順書作成及び運用管理
	・自工場の特定された緊急事態への対応のための手順書作成
	テスト、訓練を実施、記録の作成
	・自工場の問題点の発見、是正、予防処置の実施
各部門	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚
	・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

5. 環境経営目標および実績

①中期 環境経営目標

項目	単位	基準年 (2022年度実績)	目標 2023年度	目標 2024年度	目標 2025年度
電力使用量 ※太陽光発電 含む	kWh/ 百万円	234 (637,076 kWh)	229	225	220
都市ガス 使用量	m ³ / 百万円	8.35 (22,786m ³)	8.18	8.01	7.85
CO ₂ 排出量	kg- CO ₂ / 百万円	(96.6) (263,637kg- CO ₂)	(94.7)	(92.8)	(90.9)
一般廃棄物 排出量 (コピー用紙)	枚/ 百万円	414 (1,131,143枚)	406	398	389
水道 使用量	m ³ / 百万円	0.53 (1,457m ³)	0.52	0.51	0.50
銅材料 使用量	kg/ 百万円	204 (557,133kg)	200	196	192
化学物質 使用量 ※2	リットル/ 百万円	7.71 (21,060リットル)	7.56	7.41	7.42
目標設定			基準年 2022年度対比 2%削減	基準年 2022年度対比 4%削減	基準年 2022年度対比 6%削減

※1 CO₂排出係数は以下を使用（2022年度5月にウエスト電力から関西電力に変更）
ウエスト電力：0.318kWh/kg-CO₂で算出
※2 溶剤（石油系）として使用しているが、PRTR法の対象物質は含んでいない
※3 CO₂排出量は参考値とする

5. 環境経営目標および実績

②実績(原単位換算)

項目	単位	2022年度			2023年度			平均 (2021 ~2022) 原単位
		目標 原単位	実績 原単位	実績	目標 原単位	実績 原単位	実績	
電力 使用量 (購入 量+発 電量)	kWh / 百万 円	269	234 86.8%	637,076 kWh *太陽光発電 (9316 kWh)含む	229	231.5 101.1%	570091 *太陽光発電 (13,627 kWh)含む	250.4
都市 ガス 使用量 ロウ付	m³/ 百万 円	9.30	8.30 89.2%	22,786 m³	8.18	8.30 101.5%	20,456 m³	8.9
CO2 排出量	kg- CO2 / 百万 円	(110)	(96.6) 87.7%	(263,637) kg-CO2	(94.6)	(89.9) 95.0%	(221,370) kg-CO2	(104)
一般 廃棄物 排出量 (ビニ ー用紙)	枚/ 百万 円	451	414 91.8%	1,131,143 枚	406	481 118.5%	1,184,010 枚	470.6
水道 使用量	m³/ 百万 円	0.57	0.53 93.8%	1,457 m³	0.52	0.40 76.9%	988 m³	0.490
銅材料 使用量 (購入 量-ス クラッ プ)	kg/ 百万 円	259	204 78.7%	557,133 kg	200	211 105.5%	520,157 kg	230.1
化学 物質 使用量 (洗淨 液+加 工油)	リッ トル/ 百万 円	9.41	7.71 81.9%	21,060 リッ トル	7.56	4.20 55.6%	10,460 リッ トル	7.4
売上高	百万 円	-	2,730	-	-	2,463	-	-

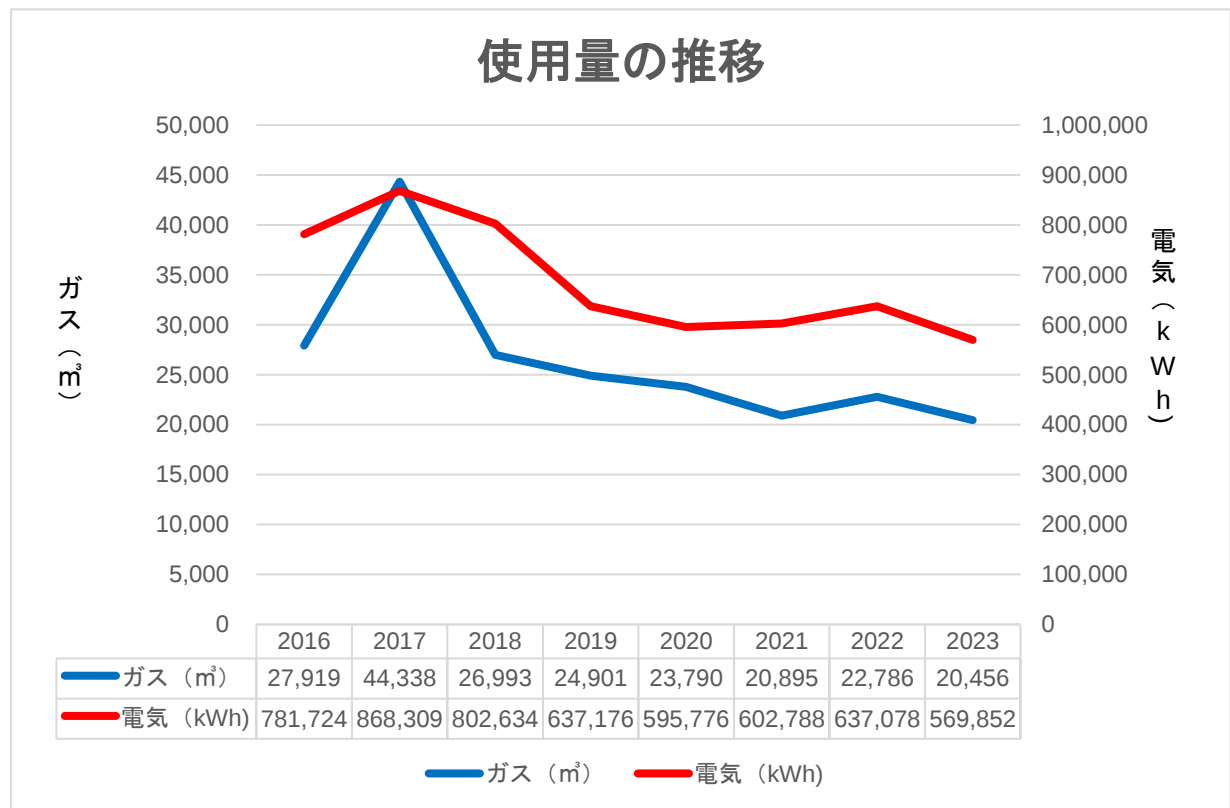
※%は目標値に対する実績

目標達成：青文字

目標未達：赤文字

6. 環境経営目標および実績

③過去8年間の実績



※2017年8月岸和田工場に移管

7. 環境経営目標・計画の取組結果とその評価

目標項目	取組計画・内容	担当	目標達成状況	評価	次年度以降の取組
電力 使用量 削減	①エアー駆動部品の洩れ修繕。 (コンプレッサーの稼働を抑制する) ②エアコンのフィルター清掃 ③最新設備の導入による省エネ	製造部門	×	計画通りに進んだ。 ただ、エアー駆動部品の洩れは慢性的に発生してくるので今後は保全活動も必要と考えられる	①エアー駆動部品の修繕/保全活動 ②不要なエリアへの空調/照明の停止
都市ガス 使用量 削減	①ろう付け時間短縮を目的とした、ろう付け治具の見直し ②ガスを使用しない高周波誘導装置の導入	製造部門	×	ろう付け治具の見直し改造は大幅に進んだが高周波誘導装置の導入は未達	①高周波誘導装置の導入 ②ろう付時間の短縮を目的とした指導/教育
一般 廃棄物 排出量 削減	①生産に使用する指示書の種類削減 ②生産に使用しない印刷物の削減	管理部門	×	生産計画の細分化(多品種少量)の取り組みにより生産に使用する指示書の枚数が増えた。 今後は指示書のペーパーレス化を含め検討する必要性がある	①生産に使用しない印刷物の削減 ②生産指示書のペーパーレス化
水道 使用量 削減	①組立工程で使用している水槽の水交換頻度の見直し	製造部門	○	水の交換頻度を決めた事により 水道の使用量削減に繋がった	①水槽の水の交換頻度を削減するために不純物等を回収する仕組みの検討
銅管材料 使用量 削減	①端材扱いとなる長さの基準を決めてスクラップ量(端材)の削減。 ②工程内不良による再作製の削減	管理部門	×	新規設備の導入により設備起因の不具合は減少傾向。 ただ起因の不具合は減少していない	①作業風景の監視から指導/教育に繋げる
化学物質 使用量 削減	①配管内部の液の残留を少なくする置き方の治具の展開	製造部門	○	大幅に削減できた	①一部配管加工品に対し加工油レス化の検討実施

8. 環境関連法規等の遵守状況

法規名	該当する活動	遵守状況 評価
廃棄物処理法 (廃棄物の処理及び 清掃に関する法律)	一般廃棄物の委託処理 産業廃棄物の委託処理 産業廃棄物マニフェストの発行、管理 交付状況の報告 収集事業者の許可の確認	○ ○ ○ ○ ○
高圧ガス保安法	高圧ガス貯蔵タンク	○
振動規制法	エアーコンプレッサーによる騒音規制 加工設備による振動規制	○ ○
騒音規制法	エアーコンプレッサーによる騒音規制 加工設備による騒音規制	○ ○
消防法	危険物の指定数量以上の許可申請 危険物取扱者の届け出 防火管理者の設置 消防用設備の点検及び報告	○ ○ ○ ○
家電リサイクル法	特定家庭用機器の販売店への廃棄有償委託 パソコンのリサイクル費用負担	○ ○
下水道法	公共下水等使用量の負担	○
フロン排出抑制法	簡易点検の実施	○
労働安全衛生法	作業安全の確保 定期健診、特定健診（じん肺、特化物） 化学物質のリスクアセスメントの実施 特定化学物質障害予防規則（溶接ヒューム）	○ ○ ○ ○
化管法	化学物質の自主的な管理 SDSの管理	○ ○

違反・訴訟等

環境関連法規への違反や訴訟はありません。

また、関係当局より違反等の指摘は、過去3年間以上ありません。

9. 代表者による全体の評価と見直し

環境経営の取り組みへの指示	結果への評価	見直しの指示
からくり改善による電気使用量の削減	△	特になし
工場稼働時間の短縮による電気使用量の削減を目的とした更なる生産負荷の平準化（多種多サイクル化）	○	生産ロットの細分化
現場と生産管理システムの改善によるコピー用紙の削減	×	更なる発展

【環境経営方針】

変更の必要性：無

【目標 経営計画】

目標変更の必要性：無

経営計画の必要性：無

【実施体制】

変更の必要性：無

【環境経営取り組み】

上記

2022年3月31日

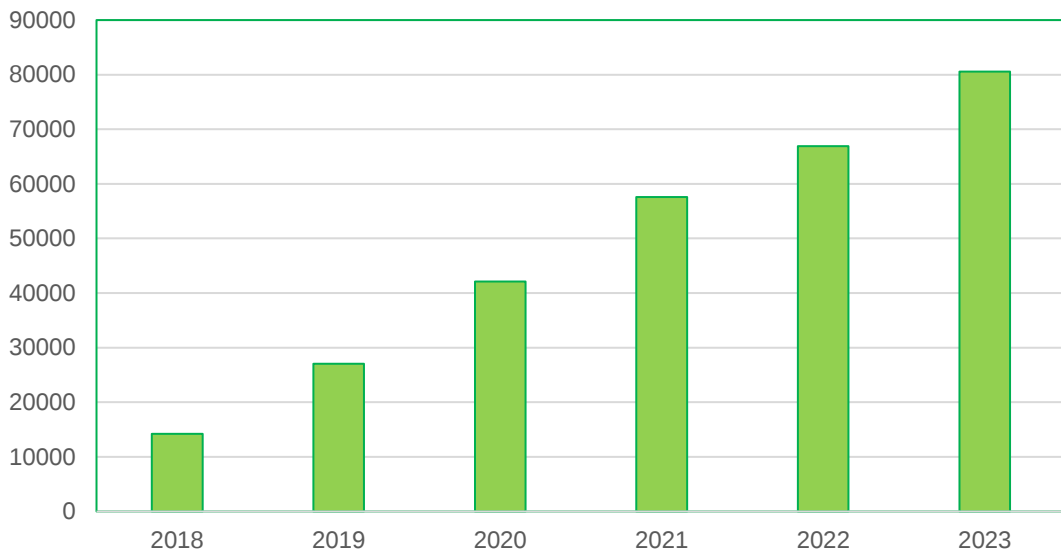
株式会社 利晃製作所
代表取締役 林 栄明

10. 環境活動等の紹介

○太陽光発電実績

年次/累計

発電量（累積）



発電実績累計 : 80560.5 kWh

40642.77 kg-CO₂/年 排出量を抑制

杉 約 2903.0 本が吸収するCO₂量に相当

※発電した電力はすべて社内にて消費
年間買電量の約 2.5 %を太陽光発電により自給

